

2025年 年次報告書

一般財団法人 神石高原地域創造チャレンジ基金

(2025年11月発行)



基金設立以来の大きな体制変更を行い、新しい体制での運営開始。更なるチャレンジャーを募集、支援を行うことで、今後も神石高原町の発展に貢献していく。

今年度から代表理事に就任いたしました岡崎です。前代表の上山さんからバトンを引き継ぎ、神石高原町における新しいチャレンジの火を灯し続けられるよう運営に邁進してまいります。

神石高原地域創造チャレンジ基金（通称 チャレンジ基金）は、神石高原町地域における産業の振興をはかり、地域のにぎわいを創出することにより、当該地域の事業体の運営を支援し、当該地域が継続的なコミュニティとして発展拡大することに寄与することを目的に、事業資金支援、事業運営支援、その実績を発信することにより、地域のにぎわいの創出にも貢献する活動を2017年より継続して行なっています。

今年も支援先は増え、現在、支援先は11事業。合計10,080万円事業資金支援を行っており、自然豊かな神石高原町ならではの神石牛関連牛舎の拡大や古民家ゲストハウス事業、ジビエペットフード事業、小規模水力発電事業など多岐にわたります。

また基金も設立8年をこえ、おかげさまで支援先数が拡大してきたこともありまして、現在（2025年9月時点）までの支援による効果をいくつかの切り口で今年度もまとめてみましたので、本報告書にて効果を定量的にご共有いたします。今後も継続して見直してまいります。

私たちは、今後も継続して支援先事業者のみなさんとともに、活動を続けてまいります。また、事業遂行の苦勞を乗り越えた経験とノウハウは、広く地域創生を目指す全国の仲間たちにも情報を共有し、地域創生のプラットフォームとなるべく尽力してまいります。

引き続き、ご指導ご鞭撻のほどどうかよろしくお願いいたします。

一般財団法人 神石高原地域創造チャレンジ基金
(通称 チャレンジ基金)
代表理事 岡崎 謙



支援先事業の状況報告

合同会社中ちゃん農園：農産物の生産、加工、販売

【概要】

代表者：細川 中一

支援決定：2023年1回

資金支援額：50万円

資金活用：農産物加工施設の拡大（冷蔵庫設置

ホームページ：<https://chuchan-farm.com/>



<加工施設にて製造された加工品>

【現況報告】

ここ数年の実績からして 1人で出せる結果としてはここがいったん上限だと考えております。他出荷者とどれだけ差別化した商品の販売するか、またどうやって単価アップを図るか等課題は結構あります。

野菜はなかなか差別化が難しいので どのように加工できる商品を栽培するか、たとえば 神石ではまだまだ販売していない「広島菜漬」とか 「ビーツのラッキョウ漬け」などを検討中です。また一つひとつの加工品に対し「リーフレット」を制作し、どうやって栽培したのか、どうやって食べたらおいしいのか等を細かく紹介していきたいと思っています。

【代表からのメッセージ】

これまでチャレンジ基金様より農産物加工場の作成における支援、この度はプレハブ冷蔵庫の設置における設置のご支援をいただきました。今後新たな加工品の開発も行っておりますので、更なる神石高原地域の農業におけるパイオニアとして頑張っていきたいと思っています。

支援先事業の状況報告

株式会社ヴィレッジホーム光末：農畜産物の生産販売

【概要】

代表者：光末 幸司

支援決定：2017年1回

資金支援額：2000万円

資金活用：神石牛関連牛舎の拡大

ホームページ：<https://vhm.jp/>



＜神石牛の子牛＞

【現況報告】

昨年の5月より肥育出荷を開始し、9月現在で17頭出荷しているおります。

神石牛本来の赤身が強く、程よい脂肪でさっぱりとした牛肉になっていますが、今後も飼料の内容を検討しながら、甘みの強く、くちどけがなめらかな牛肉を作っていきます。繁殖部門では、神石血統を中心に種付けを行い、一貫体制を構築していきます。

【代表からのメッセージ】

いまだ、飼料価格・燃油価格の高騰、枝肉価格・子牛価格の下落によって経営が圧迫されていますが、今できる最善を尽くして神石牛の振興に努めていきます。

また、東京や福山駅前に神石牛を召し上がっていただけるお店も完成しております。ぜひこだわりの神石牛を召し上がってみてください。

支援先事業の状況報告

株式会社フェアトラベルジャパン：古民家活用ゲストハウス運営

【概要】

代表者：高 斗煥（ゴ ドウファン）

支援決定：2018年1回

資金支援額：1,000万円

資金活用：古民家のゲストハウスへの改修



<宿泊と視察の一コマ>

【現況報告】

冬期は休業し、4月より営業を再開しております。前回の報告以降、2025年8月までの本年の延べ宿泊人数は28名となりました。

多数の集客よりも、ご来訪いただいた皆さまに神石高原町の魅力をご理解いただけるよう、町の案内を含め、少人数を対象とした丁寧な対応を心掛けております。

本年は韓国からの旅行客も増加傾向にあります。また、韓国では2023年よりふるさと納税が開始され、神石高原町の活用事例を発信することで関心が高まっております。

こうした機会を最大限に活用し、国内外からの利用者数拡大に努めてまいります。

現在、町民1名を雇用し、施設管理を行うとともに、訪問客が地域住民と交流できる機会も徐々に増やしております。

【代表からのメッセージ】

平素より格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

神石高原町の思惟の森（しいのもり）をご訪問いただいた皆さまの笑顔が、地域の活性化に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

今後とも神石高原町の魅力をより広く発信してまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

支援先事業の状況報告

株式会社ヤマテツRising：水回り関連インフラ・井戸掘削工事

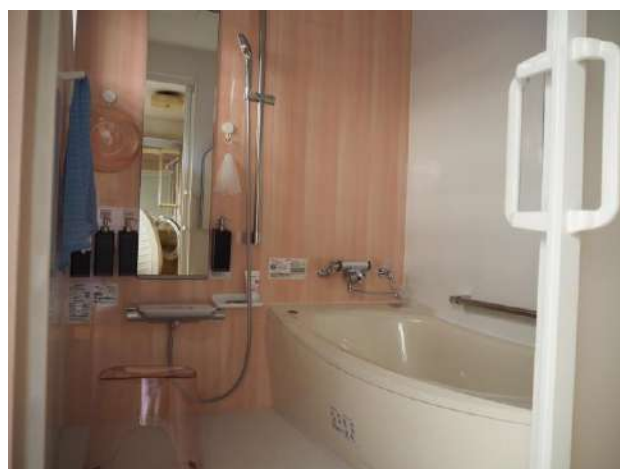
【概要】

代表者：山本 哲也

支援決定：2019年1回

資金支援額：1,000万円

資金活用：事業スタート関連費用



＜お風呂リフォーム工事のビフォーアフター＞

【現況報告】

コロナ過以降の経済の動向は目まぐるしく、中でも物価の高騰は、我々の業務への影響は少なくないと思われます。すべてにおいて価格転嫁する事は難しいので、ギリギリの範囲でお客様に喜んで頂けるよう工夫しながら、毎日を積み重ねております。

弊社業務の柱でもある井戸ボーリング工事については、ホームページで知って下さった新規顧客様からの問い合わせ等で、実際に受注に繋がったケースも出てきています。

【代表からのメッセージ】

創業当初からご愛顧頂いている神石高原町を中心に、安心して気持ちの良い水のある暮らしをして頂けるように、これから先の5年、10年を目指して頑張っております。

ご家庭の井戸ボーリング工事や、水廻りのリフォーム工事は当社にお任せ下さい！

支援先事業の状況報告

株式会社ダストマンズ：動画および動画教育コンテンツの作成

【概要】

代表者：村上 勇太 支援決定：2019年2回
資金支援額：500万円 資金活用：油木高校クラブ継続支援のためのコンテンツ拡充
ホームページ：
<https://www.youtube.com/channel/UCMyJ5odq13TMrW-sNqC0ZJQ>

【現況報告】

映像事業、メタバース事業は昨年同様順調に推移しており、加えてRe-createBASEもスタートしました。

Re-createBASEがあることで映像収益の増加は見込まれないものの、これまで止まっていた油木高校生との関わりは増やしていける可能性が高まりました。

【代表からのメッセージ】

現在一部の油木高校生が、映像やCGの学習に通ってきてれています。少しずつではありますが、確かな手応えを感じております。



<昨年作成したライブでの映像>

支援先事業の状況報告

株式会社アールティー：よもぎ茶の製造販売

【概要】

代表者：赤木剛志 支援決定：2021年2回
資金支援額：400万円 資金活用：よもぎ茶の製造販売関連
ホームページ： <https://lif-exp.com/detail?sid=3570>



＜よもぎ茶の商品＞



＜よもぎ加工の現場＞

【現況報告】

主な販売先・取引先は例年同様、よもぎ蒸しサロン・エステサロン、オーガニック飲食店や整骨院などとなります。本年度は新たにオーガニック食品専門店や道の駅に営業をかけ契約を締結し、新規取引も開始しております。また、SNSを強化しInstagramから直売できるシステムを構築しました。

現状は、第4期(2024年度)とさほど大幅な売上の変化はありませんが、既存のお客様が安定購入と新規のお客様が大口だったため、上回るペースで推移しております。マルシェやフリマなどにも積極的に参加し、地道に販路を増やしつつ、比較的大規模の会社との取引交渉も継続しているので、まだまだ売上を伸ばすことは可能です。

【代表からのメッセージ】

2021年3月24日の会社設立より、なんとか5年目を迎えることができました。まだまだ売上の的には当初の計画通りには進んでいませんが、現在の売上状況が限界ではなく、伸びしろは無限にあると思っております。神石高原町豊松地区の皆様のご協力と弊社よもぎ茶をご愛飲いただいている全国のお客様に感謝申し上げるとともに、引き続き安心・安全なよもぎ茶をご提供していくことが使命と考え邁進しますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

支援先事業の状況報告

神石高原グリーン電力株式会社：小規模水力発電の民間による売電事業

【概要】

代表者：松井 泰二 支援決定：2022年1回

資金支援額：2,700万円 資金活用：小規模水力発電の民間による売電事業



＜開所式の様子＞

【現況報告】

【2024年（前年度）の状況】

2024年の発電量は約22万6千kWhで、年間目標の約97%を達成しました。

これは、約110トンのCO2削減に貢献しています。

【2025年（今年度）の状況】

2025年7月末時点で、年間発電目標の約46%にあたる10万8千kWhを発電しました。

これは、約60トンのCO2削減に貢献しています。

【今後の見通しと対策】

8月末に発電設備の年次点検を予定しています。

水量が十分な時期に最大の発電量を確保できるよう、適切な保守点検を徹底してまいります。

【代表からのメッセージ】

日頃より、本事業にご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

おかげさまで、2024年度はおおむね順調に稼働し、今年度も発電実績は順調に推移しております。今後も、豊松発電所が最大限のパフォーマンスを発揮し、何十年も安定して稼働できるよう、適切な保守点検を行ってまいります。

地域の皆さまには、引き続き発電所へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。今後も事業に邁進してまいります。

支援先事業の状況報告

株式会社BINGO：ジビエ肉を活用したペットフード事業

【概要】

代表者：前田 諭志

支援決定：2022年2回

資金支援額：1,500万円

資金活用：ジビエ肉を活用したペットフード事業関連

ホームページ：<https://bingogibier.com/>



＜ジビエ肉を活用したペットフード＞

【現況報告】

令和6年度の事業状況として、豚熱の影響により猪の捕獲数が前年の3割強減少し、売上も1割強減少しましたが、他施設からの仕入れで一定の販売を確保しました。鹿の捕獲数は微増しましたが、猪の仕入増加により原価率が上昇しました。ジビエ食肉部門は捕獲数があれば販売できる体制が整っており、豚熱収束後は売上の安定が見込まれます。ペットフード部門は伸び悩んでいるため、来年度に向け総合栄養食を開発・販売予定です。また、中古車販売事業が売上減を補い、事業全体としては堅調に推移しました。

【代表からのメッセージ】

令和6年度は豚熱による捕獲減少で厳しい状況でしたが、他施設からの仕入確保や中古車販売事業により事業全体を維持し、従業員の雇用も守ることができました。今後も地域の捕獲活動支援とジビエ食肉部門の安定供給体制の強化を図るとともに、ペットフード部門では総合栄養食の開発と販路拡大に取り組み、地域経済への一層の貢献を目指してまいります。

支援先事業の状況報告

ルッカリー合同会社：ICT教育事業

【概要】

代表者：今泉 理良香

支援決定：2023年2回

資金支援額：200万円

資金活用：ICT教育事業設立における初期費用等



＜昨年行った放課後ICT教室の様子＞

【現況報告】

弊社は、ICTの力を活用し地域や経済的な制約に関係なく、子ども達が高品質なICT教育へアクセスできるよう、放課後ICT教室を実施しています。具体的には、放課後児童クラブでの預かり時間を活用して、タブレットならではの立体や迷路等の知育ゲーム（立体図形や数的感覚等を養うもの）や、プログラミングの基礎を楽しみながら学ぶことができる細かな単元設定をしたプログラミングの授業を行っています。

また今年度からは、ICT×防災という分野に挑戦しようと思っており、大きな災害を経験していない子どもたちにも積極的に参加してもらえるようなVRを活用した防災イベントの企画等、新たな取り組みを始めています。

【代表からのメッセージ】

今年度は、放課後ICT教室の地域展開だけでなく、新たな分野への挑戦ができるよう下地作りを始めています。昨今のAIの発達により、これまで求められていたプログラミングスキルとはまた異なったスキル、いかに技術をいろいろな分野で有効に活用していくかについて、魅力的な企画を通じて子どもたちと考えていきたいと思っています。

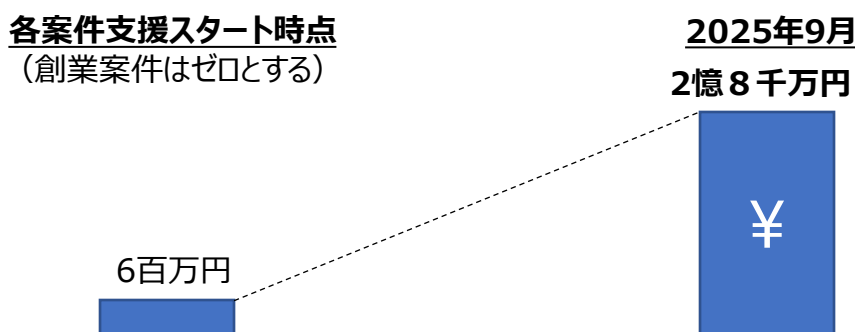
チャレンジ基金の支援の効果について

現在までのチャレンジ基金支援の効果まとめ

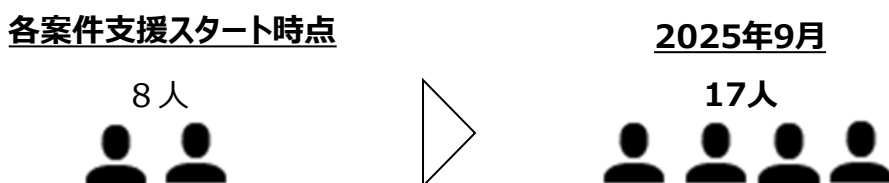
2017年の基金運営の開始からこれまででおかげさまで多くの支援を実行することができました。そこで継続して支援先のみなさまに対する支援効果を4つの切り口にて支援先の合算で公表しております。
(支援分償還完了先も完了直前期数値を合算しております)

【これまでの支援効果（時点2025年9月、2024年度までの投資先11件合計）】

＜売上高の拡大（2024年度までの既支援先11件合計）＞



＜雇用の維持と拡大（同上合計。正規雇用、パートアルバイト合計）＞



＜支援以降、支援先が金融機関の借入や、助成金等をいただいた金額合計＞

3億6142万円

⇒ 基金が一定のリスクを負担する形で、タグボートの支援役割をはたし、多くの金融機関や事業者さまから直接の追加での金融的支援をいただけたものと考えております。

＜支援以降、支援先がメディアに掲載された回数の合計＞

46回

⇒ 支援先のみなさまがメディアに取り上げていただくことにより、「挑戦のまち」神石高原町の宣伝に大きく役立っているものと考えております。

また、チャレンジ基金の説明会、個別相談会には、25年9月までで**累計78件**ご参加いただき、審査のお申込み自体も、**累計39件**に達しておりまして、神石高原町における、「起業や新規事業の拡大」の機運の醸成には微力ながら役立っているものと考えております。

皆様のご支援、各支援先のご努力、追加支援の輪の拡大の循環で、現在まで上記のような効果が表れてきております。引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

チャレンジ基金について

○新しいビジネスチャレンジをサポート



チャレンジ基金は、神石高原町地域における産業の振興をはかり、地域のにぎわいを創出することにより、当該地域の事業体の運営を支援し、当該地域が継続的なコミュニティとして発展拡大に寄与することを目的に2017年設立。神石高原地域で新しいビジネスチャレンジを行う事業者に対して、資金的な資源提供を行うと同時に、伴走型支援と呼ぶ経営指導と一緒に実施していくことで、事業者の経営を安定化させると共に、自律的な運営を促すことで、新規事業者の参入を容易にしていこうことを目指しています。少子高齢化と人口減少が進行した神石高原町であるからこそ、次代を担う人材の新しいチャレンジを応援することで新しい事業創造を図り、地域の活性化、にぎわい創出に繋げていく活動を進めます。

【住所】

広島県神石郡神石高原町小畠小畠 1 7 0 1
(神石高原町役場内)

【ホームページ】

<http://jinseki-kikin.jp/>